



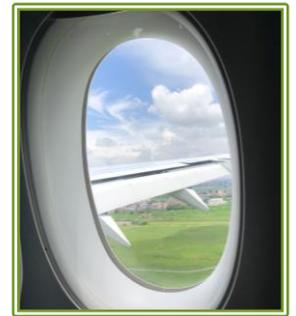
# 国際看護学実習Ⅱ(ベトナム社会主義共和国)

2018年7月29日から8月4日、本学4年生43名がベトナムで国際看護学実習Ⅱを実施しました。国外で実施する国際看護学実習は、国際医療協力の現場で活躍する看護職の育成をめざす本学の特色あるカリキュラムの一つです。本学はベトナムのハイズオン医療技術大学(Hai Duong Medical Technical University, HMTU)と二校間協定を締結しており、ベトナムでの実習は今年で8年目になります。

国際看護学実習Ⅱは、多くの学生にとってベトナムの保健医療システム、患者さんの療養環境や看護実践に初めてふれる機会となっています。ベトナムと日本との違いや共通する課題を理解し、改めて看護職の役割を考えることで自らの看護観を深めることができました。



**成田空港**  
行ってきます!!



**ハノイ到着**  
約5時間のフライトです。



**ハイズオン医療技術大学 (HMTU)**  
横断幕を掲げて歓迎してくださいました。



はじめにベトナム医学発展の師にお参りました。



HMTU 学長より歓迎のご挨拶をいただきました。  
この後、ベトナムの保健医療システムと看護教育についての講義およびHMTUカリキュラムの紹介がありました。



**社会福祉施設、ハンセン病療養施設**  
政策や施設における看護職の役割を学びました。入居者からお話も伺いました。



**郡病院**  
地域病院としての役割と省病院やヘルスセンターとの連携について学びました。



**コミュニヘルスセンター**  
予防と一次医療を担うヘルスセンターの役割を学びました。



**省病院 (Hai Duong General Hospital)**  
省内唯一の三次医療病院です。



実習中は英語で一生懸命質問しました。HMTUの教員や学生さんも熱心に学生をサポートしてくれました。



**中央病院 (Bach Mai Hospital)**  
ハノイ市内にあるベトナムで最も大きな病院のひとつで、先端医療を提供しています。

**実習成果発表**  
**@ Bach Mai Hospital**  
グループごとに実習の成果を英語で発表しました。



国際看護学樋口まち子教授が本学を代表し挨拶しました。



HMTUの先生方からも講評をいただきました。「ベトナムそして日本の看護の発展に尽力し、ぜひ両国のかけ橋になってほしい」と、学生への激励のお言葉をいただきました。